

障害者事業共同発展へ

初の姉妹施設協定

マーガレット社会福祉会と室蘭言泉学園



協定書を手記念撮影する菅野理事長（右）とキム代表

韓国で障害者福祉事業を運営するマーガレット社会福祉会（キム・ギジョン代表）が、室蘭市母恋北町の社会

福祉法人室蘭言泉学園（菅野登一郎理事長）を訪れ、相互交流で障害者事業の共同発展と友好増進を図ること

を目的とする姉妹施設協定を初めて結んだ。同会が同学園を訪問したのは昨年11月に続

き2回目。同会は協定締結や同会職員の海外研修として、職場見学と職員交流を目的に13人が来道した。キム代表はあいさつで「昨年、施設を訪問させていただき感動しました。交流を通してお互いに良いところを吸収し合っていければ」と期待した。

協定では「障害者福祉事業の諮問及び協力」「職員の力量強化のための見学（実習）などの交流活性化を推進」など。協定書に菅野理事長とキム代表が署名した。菅野理事長は「韓国に向いての研修など早急に検討していきたい。利用者や職員のためになるよう、良い関係を築いていきたい」と抱負を語った。

一行は同学園が運営する障がい児入所施設室蘭言泉学園や児童養護施設わかすき学園、市子ども発達支援センター「あいくる」などを見学。スマートフォンでの翻訳機能アプリを使って職員同士交流を深めた。

（山本早希）